

津警察署協議会議事録

令和4年度第3回津警察署協議会	
日時	令和5年2月9日(木) 午後1時30分～午後4時00分
場所	津警察署1階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 8名 飯田聡委員、杉井ひろ子委員、杉田真一委員、鈴木一彦委員、高木暢子委員、田中克昌委員、辻眞由実ロザリーナ委員、寺田実智子委員、萬好哲也委員</p> <p>2 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、生活安全課主幹、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 三重県警察本部警備部機動隊視察</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 警察署長挨拶</p> <p>4 管内治安情勢説明(警察署長)</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況について 「全国の刑法犯認知件数が、20年ぶりに増加に転じた。三重県内の刑法犯認知件数についても戦後最少を更新続けていたが令和4年中の刑法犯認知件数は、増加に転じた。管内でも前年に比べ32件増加した。」旨を説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺の認知・検挙状況について 「令和4年中、管内では9件の特殊詐欺を認知し、被害額は約6,900万円となった。被害者は全て高齢の女性であり、自宅の固定電話にかかってきた電話で騙されている。」旨を説明した。</p> <p>(3) 暴力団犯罪について 「暴力団の抗争等により、市民が事件に巻き込まれないよう平素から警戒を継続するとともに暴力団犯罪の検挙に努めた結果、令和4年中は12件、8人を検挙している。」旨を説明した。</p> <p>(4) 薬物事犯について 「薬物事犯の多くが覚醒剤事犯であり、令和4年中は25件、11名を検挙している。」旨を説明した。</p> <p>(5) 交通事故発生状況について 「令和4年中の管内の交通事故発生状況は、交通人身事故は5件発生しており、中学生がダンプカーにはねられた痛ましい交通死亡事故などにより5人の尊い命が奪われた。依然として厳しい交通事故情勢となっている。」旨を説明した。</p>	

- 5 サイバー犯罪の状況について（前回質疑に対する回答：警察署長）
 令和4年中は、三重県内ではインターネットのトラブルなどに関する相談が、約3,800件、管内では377件あった。
 三重県内では、これらのサイバー犯罪を174件検挙している。
 サイバー犯罪は、「匿名性が高い」、「痕跡を残さない」、「不特定多数に被害が及ぶ」、「時間的・場所的な制約がない」等の特徴があり犯人検挙には困難を要するが、警察ではサイバー犯罪に対する取締りを強化しているほか、チラシなどを活用した被害防止のための広報活動を行っている。
- 6 「速度取締り指針」について（警察署長）
- 7 協議内容
- (1) 速度取締りの方法について
 <委員> 以前に比べて、街頭で速度取締りをしている警察官を見かけなくなったように思う。
 見せる交通事故防止も重要だと思うが、速度取締りの実施は、どのような基準で行っているのか。
 【署長】 交通事故の発生が多い場所や取締り要望の多い場所等を取締り場所として選定して移動式オービスを活用するなど、実効性と顕示性の両立を考えて実施している。
 今後は、より警察官の姿が見えるよう街頭活動を行っていく。
- (2) 重要犯罪の発生状況について
 <委員> 管内における強盗等の凶悪事件の発生状況について説明願いたい。
 【署長】 令和4年中は、強盗事件の連続発生や、病院内の殺人事件等13件の発生があったが、全て検挙している。
- (3) 空き巣等の発生時における周辺住民への注意喚起について
 <委員> 先日、町内で空き巣被害が発生した。
 地域全体の防犯意識を高めるため情報共有を図ろうと思うがどのように行えば効果的か。
 【署長】 被害があれば、まず、警察に届けていただきたい。
 その後、警察から地域住民に対して防犯指導を巡回連絡や「交番・駐在所だより」等を活用し、防犯指導を行っていく。
- (4) 自転車乗車用ヘルメット着用義務化について
 <委員> 4月から自転車乗車時にもヘルメット着用が義務化されるが、高校生にどのように着用を促せばよいか。
 【署長】 自転車の交通事故は頭部の怪我を防ぐ必要がある。
 ヘアスタイルの乱れなどが気になる年頃ではあるが、ヘルメットの必要性について丁寧に説明していただきたい。

備	考	報道機関2社2名が取材
---	---	-------------